

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

目標達成計画					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時の避難をするに当たり地域との協力体制が構築出来るように日頃から地区の自主防災会の活動行事に参加したり消防団に協力を依頼しています。施設の立地が避難指定場所となっている県立渦潮高校に隣接しているとはいえ、介護度1~5のグループホームの入所者18名をスムーズに避難させるには人力(職員)・時間共に厳しい環境にあります。周囲の人的協力が必須となっています。	地域に働きかけ避難誘導時の協力者を増やし、少しでも早く安全に避難を行う。	県立渦潮高校には防災クラブがあり避難時協力が得られるように施設側から働きかけを行ってみる。	12 か月
2					か月
3					か月
4					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。